

鹿児島県の死亡野鳥でA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子検査陽性！

環境省は1月22日、鹿児島県出水市で回収された死亡野鳥（ヒドリガモ）1羽で、遺伝子検査によりA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子の陽性反応が出たことを発表しました。

高病原性鳥インフルエンザ等の確定検査はこれから実施する予定で、結果判明まで1週間程度かかります。

【今回の事例の経緯等】

(1) 死亡鳥の確認地点

鹿児島県出水市

(2) 経緯

- ・1月18日、ヒドリガモ1羽の死亡個体を回収。
- ・1月22日に国立環境研究所において本死亡個体の遺伝子検査を実施。A型鳥インフルエンザウイルス遺伝子の陽性反応。
- ・同日、回収等地点周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- ・今後、鹿児島大学で確定検査を実施予定。

※現時点では、遺伝子検査により陽性が確認されたものであり、病性は未確定、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたわけではありません。確定検査の結果、陰性となることもあります。

◆◆◆鶏など家きん飼養者の皆様へ◆◆◆

○本病の発生予防対策の再点検をお願いします。

- ・防鳥ネットのチェックなど野生動物の家きん舎への侵入防止
- ・農場の外と内を明確にして、入退場時の人・車両などの消毒
- ・家きん舎出入口で靴底などを消毒

○鶏など家きんに異常が見られた場合は、すぐに当所まで連絡して下さい。

京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(夜間・休日転送)

FAX:0774-52-2030